

令和6年度 みどりの保育園 保育士の自己評価について

保育士が自己評価することで

- ☆ 保育士が自らの保育を自己点検・評価する（見直す）ことによって、保育内容の質の向上に努めることができる。
- ☆ 多様なニーズに対応したきめ細やかな保育サービスの提供のあり方等について検討課題を得ることができる。
- ☆ 保育園の保育内容を開示することによって、社会に保育園保育及び保育園の存在理由を理解してもらうことができる。

以上の効果が期待されます。

1.実施期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

2.評価機関

- ◎ よく出来ている
- ほぼ出来ている
- △ 努力が必要

3.評価内容と結果

(実施した保育士 18名)

項 目	評 価 内 容	◎ (%)	○ (%)	△ (%)	評価 (改善策)
保育 理念	すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重している	72.2	27.8	0.0	一人ひとりの性格や生活スタイルなどへの理解を深めて関わっている。
	一人ひとりのありのままの姿を受け入れることが出来る	66.7	33.3	0.0	一人ひとりに応じて言葉掛けや関わりに配慮している。
保育 計画	園の方針を理解して、保育計画を立てている	44.4	38.9	5.6	保育計画を立てる前に、方針について先生達と話し合った。
	園の保育目標を理解して、クラスの年間目標を立てたか	38.9	33.3	11.1	園の目標と子ども達の姿を見て年間目標を立てた。
	『目指す子どもの姿』を実現できるよう保育計画を立てた	44.4	33.3	5.6	現状の姿の理解を深め、目指す子どもの姿を考慮した。
保育 実践	園の保育方針を理解し、実践しようと努めている	55.6	38.9	5.5	全体的な方針として理解を深め実践する事ができた。
	年間保育目標を意識して保育に組んでいる	44.4	38.9	11.1	目標を意識しようと努めた。
	『目指す子どもの姿』を実現できるよう保育に取り組んでいる	55.6	44.4	0.0	クラス内でもこまめに話し合いながら取り組む事が出来た。
環 境	子どもの発達を促すための環境づくりを心がけている	44.4	55.6	0.0	保育環境の設定では、どのような配慮が必要か考えながら行ってきた。

づくり	玩具・遊具については必要に応じて消毒したり、衛生面に配慮する	38.9	61.1	0.0	感染症が流行している時は、こまめな消毒を行っていた。
項 目	評 価 内 容				
環境 づくり	子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境づくりを行っている	55.6	44.4	0.0	子どもの姿に応じた環境づくりを行った。
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心掛けている	55.6	44.4	0.0	日々の掃除や整理整頓を行い、子ども達が過ごしやすい保育室を目指している。
健康 支援	子どもの日々の健康状態を把握し、保育している	77.8	16.7	5.5	朝の視診を大切にしたり、保育中も表情や行動が日頃と違いを感じたらよく見守る。
	子どもの体調不良や怪我などの情報を職員間で共有している	77.8	16.7	5.5	毎日の申し送りや職員間の報告、ミーティングを通じて共有している。
子ども との 関わり	一人ひとりを大切にして関わっている	83.3	16.7	0.0	伝えようとしている事に耳を傾け、理解しようと関わって過ごした。
	一人ひとり思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている	55.6	44.4	0.0	思いを受けとめ、可能な限り実現できる様心掛けている。難しい場合は、理由を説明する。
	一人ひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている	55.6	38.9	5.5	職員間で連携を図りながら一人ひとりの子どもの目標について話し合ってきた。
	一人ひとりの子どもの話を聞き、丁寧に関わっている	55.6	38.9	5.5	言葉で伝えきれない思いを代弁し、表現を引き出していった。
保護者 対応	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	77.8	22.2	0.0	慌ただしい中でも、丁寧な言葉かけをし、安心感を持ってもらえるような対応をした。
	送迎時に子どもの姿を伝えている	38.9	50.0	11.1	今日あった出来事や出来る様になった事等、前向きな声掛けを心掛けた。
	一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っている	33.3	33.3	22.3	面談は必要な場合は、個別対応をしている。
事故防止 安全対策	遊具の安全点検を行い、破損・不具合の箇所は、必要に応じて対策をとっている	66.7	33.3	0.0	安全点検の他にも、日々の遊びの中で危険な場所を共有したり、修繕に努めた。
	子どもが危険な場所や遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう働きかけている	83.3	16.7	0.0	先生達の立ち位置を工夫しながら、子どもが危険な遊びをしている時には声を掛け未然に防げるようにした。
職員の 資質向上	園の内外における研修に積極的に参加している	55.6	33.3	11.1	研修に参加し、協力してよりよい保育を目指そうという気持ちを生み、保育全体の質の向上に繋げた。
	保育士の人間性が子どもに与えることを自覚して、研修に励んでいる	66.7	33.3	0.0	学んだことを活かせるよう努めている。
